

【クルメル】API 連携仕様書 設定マニュアル

第 1.18 版 2023.04.26

目次

概要	3
前提条件	3
通信方式	3
利用制限	3
レスポンスについて	4
実行結果サンプル	5
操作系 API	9
配信リスト登録 API	9
メール配信予約 API (一斉メール配信)	12
メール配信予約 API (個別メール配信)	17
メール配信日時変更 API	22
メール配信キャンセル API	24
テストメール送信 API	26
取得系 API	28
エラーアドレス一覧取得 API	28
メール一覧取得 API (一斉メール配信)	30
メール一覧取得 API (個別メール配信)	32
メール情報詳細取得 API	35
配信結果アドレス一覧取得 API	37
配信エラー情報取得 API	39
開封アドレス一覧取得 API	41
URL クリックアドレス一覧取得 API	43
月別メール配信数取得 API	45
注意事項	47

概要

- ・本書は、「API 連携機能」の利用方法と注意事項について記述しています。

前提条件

- ・クルメル契約者であること。

通信方式

- ・通信方式 : POST(HTTPS)
- ・文字コード : UTF-8、Shift-JIS、EUC-JP
 - ※パラメータ「charset」に、該当する文字コードを指定してください。
 - ※メール本文の文字コードではありません。
 - メール本文の文字コード指定は多言語配信オプションの契約が必要です。
 - オプション契約時のみパラメータ「mail_lang」にて指定されます。
 - クルメルの日本語標準文字コードは ISO2022JP です。

利用制限

- ・API 連携機能は 1 日あたりの利用回数に制限を設けています。
制限回数を超えた場合はエラーになり、夜 0:00 に回数がリセットされるまで利用することができません。

◆ 利用制限 : 1000 回/日

※エラーを除くすべての API の利用回数が対象となります。

[制限を超えた際のエラーコード]

CODE	STATUS	メッセージ
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。

レスポンスについて

・CSV もしくは、XML 形式でレスポンスを受け取ることができます。

※形式はパラメータの「return_format」で指定できます。

※文字コードはパラメータの「charset」で指定できます。

◆CSV 形式

1 行目 : ヘッダが出力されます。

2 行目移行 : データが出力されます。

※エラー時には、結果コード(エラーコード)が出力され

成功時には、取得内容が出力されます。

※ヘッダ行が” CODE,STATUS,MESSAGE”となっていればエラーと判定できます。

◆XML 形式

XML 形式では、かならず結果コードが返る仕様となっています。

※成功時は code に 10200 が設定されます。

```
<response>
  <code>10200</code>
  <status>success</status>
  <message>成功</message>
  <data>
    <mail_id>119</mail_id>
  </data>
</response>
```

API 連携の結果コード

<data>タグ内に取得内容が設定される

また、取得内容がリスト形式の場合には下記のような戻り値となります。

```
<response>
  <code>10200</code>
  <status>success</status>
  <message>成功</message>
  <data>
    <list>
      <mail_address>xxxx@xxx.co.jp</mail_address>
    </list>
    <list>
      <mail_address>xxxx@xxx.co.jp</mail_address>
    </list>
  </data>
</response>
```

<list>タグ毎に 1 行のデータが設定される。

実行結果サンプル

・実行結果を以下のような形式で返します。

【成功した場合のレスポンス】

◆ヘッダ(共通)

CSV 形式	XML 形式
HTTP/1.1 200 OK Cache-Control: public Pragma: public Content-Type:20120328161734.csv; name=20120328161734.csv Content-Disposition: attachment ; filename=20120328161734.csv	HTTP/1.1 200 OK Content-Type: text/xml; charset=UTF-8

※CSV 形式の場合、出力データがない場合には CSV 形式のヘッダは出力されません。

◆ボディ(操作系)

・戻り値がある場合

CSV 形式	XML 形式
メール ID 118	<pre> <response> <code>10200</code> <status>success</status> <message>成功</message> <data> <mail_id>119</mail_id> </data> </response> </pre>

・戻り値がない場合

CSV 形式	XML 形式
	<pre> <response> <code>10200</code> <status>success</status> <message>成功</message> </response> </pre>

◆ボディ(取得系)

CSV 形式	XML 形式
メールアドレス,最終更新日,永続的,一時的,原因不明,合計 xxxx@xxxxx.co.jp ,2012/03/14 10:55,7,3,10,20 xxxx@xxxxx.co.jp ,2012/03/14 10:54,5,4,6,15	<pre> <response> <code>10200</code> <status>success</status> <message>成功</message> <data> <list> <mail_address>test002@user02.dd1.ldomain</mail_address> <last_update_date>2012/03/14 10:55</last_update_date> <permanent_error>7</permanent_error> <temporary_error>3</temporary_error> <unknown_error>10</unknown_error> <summary>20</summary> </list> <list> <mail_address>test001@user02.dd1.ldomain</mail_address> <last_update_date>2012/03/14 10:54</last_update_date> <permanent_error>5</permanent_error> <temporary_error>4</temporary_error> <unknown_error>6</unknown_error> <summary>15</summary> </list> </data> </response> </pre>

※リスト取得の通信の場合は、ボディにリスト内容が設定されます。

【失敗した場合のレスポンス】

◆ヘッダ

CSV 形式	XML 形式
HTTP/1.1 200 OK Cache-Control: public Pragma: public Content-Type:20120328161734.csv; name=20120328161734.csv Content-Disposition: attachment ; filename=20120328161734.csv	HTTP/1.1 200 OK Content-Type: text/xml; charset=UTF-8

※CSV 形式の場合、出力データがない場合には CSV 形式のヘッダは出力されません。

◆ボディ

※ボディ部の表記は一例です。

・パラメータエラーによって処理に失敗した場合

CSV 形式	XML 形式
CODE,STATUS,MESSAGE 81423,no password,transport_password が入力されていません。	<pre><response> <code>81423</code> <status>no password</status> <message>transport_password が入力されていません。 </message> </response></pre>

・認証エラーによって処理に失敗した場合

CSV 形式	XML 形式
CODE,STATUS,MESSAGE 81401,unauthorized,接続情報が正しくありません。	<pre><response> <code>81401</code> <status>unauthorized</status> <message>接続情報が正しくありません。</message> </response></pre>

・サーバエラーによって処理に失敗した場合

CSV 形式	XML 形式
CODE,STATUS,MESSAGE 99500,internal error,サーバ内で処理に失敗しました。	<pre><response> <code>99500</code> <status>internal error</status> <message>サーバ内で処理に失敗しました。</message> </response></pre>

【CSV ファイルのフォーマットについて】

- ・CSV ファイル内の項目の並び順などに指定はございません。
- ・CSV ファイル内のメールアドレスに該当する項目名は「メールアドレス(カタカナ全角)」と記載してください。
「メールアドレス」以外の文言を記載する場合は、管理画面の各種設定画面より項目名称を指定してください。
- ・CSV ファイルの項目数の上限は 100 項目となります。
- ・CSV ファイル 1 行目(ヘッダ行)の項目名は必須入力です。
- ・CSV ファイルのサイズ制限は 30MB までです。
- ・CSV を圧縮した ZIP ファイルの送信ができます。
※処理できる CSV ファイルは 1 つだけです。複数の CSV ファイルを圧縮した ZIP ファイルは送信できません。
- ・文字コードは UTF-8、Shift-JIS、EUC-JP です。
- ・CSV ファイル内のひとつの項目の制限文字数は 900 文字です。
- ・「¥r,¥n(改行コード)」は項目名としてご利用できません。
- ・項目名に半角スペース、#、<、>、_ が含まれる場合、全角に変換し読み込まれます。
- ・同じ項目名が含まれる場合、2 からの連番をつけ読み込まれます。
※ 「お名前」項目が 2 つ存在する場合、「お名前」、「お名前 2」として読み込まれます。

操作系 API

配信リスト登録 API

【概要】

配信リストを登録する API です。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■/api/index.php?ac=UploadAddressCSV

●●●●●●/■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
csvfile	CSV ファイル	CSV ファイル または ZIP ファイル	★	CSV ファイル、または CSV ファイルを圧縮した ZIP ファイル。 文字コードは UTF-8、Shift-JIS、EUC-JP。 ※ファイルサイズ制限は最大 30MB まで。 ※処理できる CSV ファイルは1つだけです。複数の CSV ファイルを圧縮した ZIP ファイルは送信できません。 ※UTF-8 の場合、BOM 無しのファイルで連携する必要があります。 BOM 付きの場合、読みエラーとなります。
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1:UTF-8 2:Shift-JIS 3:EUC-JP
list_name	リスト名	文字列		画面表示のリスト名称 ※50 文字以内 ※使用できない文字『¥ / : * ? “ < > 』
list_target	リスト登録先	整数	★	リストの登録先(1:本部、2:エリア、3:店舗) ※パラメータまたは値がない場合は “1”。
areaid	エリア ID	整数	▲	リスト登録先が「2:エリア」の場合、必須
shopid	店舗 ID	整数	▲	リスト登録先が「3:店舗」の場合、必須

report_option	レポートオプション	整数	一括処理終了後にレポートメールを送信するかどうか。 0:送信しない 1:送信する 2:エラー時のみ送信する ※パラメータまたは値がない場合は“1”。
---------------	-----------	----	--

【取得内容】

なし

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
82431	bad list_target	list_target には、リストの登録先(1:本部, 2:エリア, 3:店舗)いずれかの値を設定してください。
81438	bad report_option	report_option には、0~2 の整数を指定してください。
81441	too big file	送信できるファイルサイズは 30MB 未満です。
81442	no file	ファイルが存在しません。
81443	bad file type	ファイルの拡張子が csv, zip ではない、または ZIP ファイル内のファイルが csv ではありません。
81444	too many files	ZIP ファイル内に複数のファイルが存在します。
82445	no mailaddress column	CSV ファイルの1行目に「メールアドレス」の項目名がありません。
82446	bad list_name	list_name に使用できない文字が含まれています。
82447	too long list_name	list_name が長すぎます。
82448	too many column	CSV ファイルの1行目は 100 項目以内で指定してください。
82449	blank column	CSV ファイルの1行目の項目名に空の値が含まれています。
82450	bad column	CSV ファイルの1行目に使用できない文字が含まれています。
82453	bad areaid	areaid が整数ではない、または存在しない areaid です。
82454	no areaid	areaid を指定してください。※list_target が 2 の場合、areaid の指定が必要です。
82451	bad shopid	shopid が整数ではない、または存在しない shopid です。
82452	no shopid	shopid を指定してください。※list_target が 3 の場合、shopid の指定が必要です。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。
81490	file upload error	ファイルのアップロードに失敗しました。
99500	internal error	処理に失敗しました。

メール配信予約 API(一斉メール配信)

【概要】

指定された CSV ファイルを配信リストとし、複数アドレスに対して一斉にメール配信予約を行う API です。

※指定された CSV ファイルは配信リストとして登録されます。

※From に指定されたアドレスがシステムに登録されていない場合は自動的に登録されます。

※HTML メールを送信する場合は html_part、テキストメールを送信する場合は text_part に本文を入力してください。

※配信日時に指定できる範囲は現在から翌年末までです。

※添付ファイルを指定する場合は、添付ファイル送信オプションの契約が必要です。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■/api/index.php?ac=CreateNewMail

●●●●●●/■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1: UTF-8 2: Shift-JIS 3: EUC-JP
mail_lang	配信言語	整数		※このパラメータは多言語配信オプションの契約が必要です。 ※日本語以外は、パラメータ「charset」に 1: UTF-8 のみ指定できます。 未指定時は「0: 日本語」として配信。 0: 日本語 1: 中国語(繁体字) 2: 中国語(簡体字) 3: 韓国語(ハングル) 4: その他の言語(UTF-8)
return_format	取得形式	整数		取得する形式を指定。 "csv": CSV 形式 "xml": XML 形式 ※省略すると、csv 形式。
csvfile	CSV ファイル	CSV ファイル または ZIP ファイル	★	CSV ファイル、または CSV ファイルを圧縮した ZIP ファイル。 文字コードは UTF-8、Shift-JIS、EUC-JP。 ※ファイルサイズ制限は最大 30MB まで。 ※処理できる CSV ファイルは1つだけです。 複数の CSV ファイルを圧縮した ZIP ファイルは 送信できません。 ※UTF-8 の場合、BOM 無しのファイルで連携する必要があります。 BOM 付きの場合、読込エラーとなります。

list_name	リスト名	文字列		画面表示のリスト名称 ※50文字以内 ※使用できない文字『¥ / : * ? “ < > 』
from_address	From のメールアドレス	文字列	★	メールの From に使用するメールアドレス ※DKIM 署名の利用には登録済の From アドレス/差出人名の指定が必要です。
from_name	From の差出人名	文字列		メールの From の差出人名 ※DKIM 署名の利用には登録済の From アドレス/差出人名の指定が必要です。
subject	件名	文字列	★	メールの件名
text_part	本文(テキストパート)	文字列	△	メールのテキストパート テキストメールの場合は必須
html_part	本文(HTML パート)	文字列	△	メールの HTML パート HTML メールの場合は必須
schedule_type	予約種別	整数	★	メールの予約種別 1: 即時配信 2: 予約配信
schedule_date	配信日時	日時	△	メールの配信を行う日時(yyyy/mm/dd hh24:mi) ※過去日時は指定できない。 ※予約配信の場合のみ必須。 ※5分間隔でのみ設定可能
report_option	レポートオプション	整数		一括処理終了後にレポートメールを送信するかどうか。 0: 送信しない 1: 送信する 2: エラー時のみ送信する ※パラメータまたは値がない場合は“1”。
attach_file_01	添付ファイル1	ファイル		※このパラメータは添付ファイル送信オプションの契約が必要です。 メールに添付するファイル。
attach_file_02	添付ファイル2	ファイル		”
attach_file_03	添付ファイル3	ファイル		”
attach_file_04	添付ファイル4	ファイル		”
attach_file_05	添付ファイル5	ファイル		”
attach_file_06	添付ファイル6	ファイル		”
attach_file_07	添付ファイル7	ファイル		”
attach_file_08	添付ファイル8	ファイル		”
attach_file_09	添付ファイル9	ファイル		”
attach_file_10	添付ファイル10	ファイル		”

【取得内容】

CSV 項目名	xml タグ名	表示例
メール ID	mail_id	105

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81405	bad mail max size	メールサイズが上限を超えています。
81406	bad mail body max size	メール本文のサイズが 2MB を超過しています。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。
82476	bad charset	多言語配信の場合は charset に 1:UTF-8 を指定してください。
82474	multilingual option not available	多言語配信オプションは利用できません(オプション契約が必要です)。
82475	bad mail_lang	mail_lang には、0~4 の整数を指定してください。
81462 81424	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81438	bad report_option	report_option には、0~2 の整数を指定してください。
81441	too big file	送信できるファイルサイズは 30MB 未満です。
81442	no file	ファイルが存在しません。
81443	bad file type	ファイルの拡張子が csv, zip ではない、または ZIP ファイル内のファイルが csv ではありません。
81444	too many files	ZIP ファイル内に複数のファイルが存在します。
82445	no mailaddress column	CSV ファイルの 1 行目に「メールアドレス」の項目名がありません。
82446	bad list_name	list_name に使用できない文字が含まれています。
82447	too long list_name	list_name が長すぎます。
82448	too many column	CSV ファイルの 1 行目は 100 項目以内で指定してください。
82449	blank column	CSV ファイルの 1 行目の項目名に空の値が含まれています。
82450	bad column	CSV ファイルの 1 行目に使用できない文字が含まれています。
82460	bad from_address	from_address がメールアドレスの形式ではありません。
82461	no from_address	from_address を指定してください。
82462	no subject	subject を指定してください。
82463	no body	text_part または html_part を指定してください。
82464	bad schedule_type	schedule_type には、1~2 の整数を指定してください。
82465	bad schedule_date	schedule_date が正しく指定されていません。
82466	too old schedule_date	schedule_date に過去の日付は使用できません。
82472	too big attachment	添付ファイルのサイズが合計 3MB を超えています。
82473	attachment option not available	添付ファイルのオプションは利用できません(オプション契約が必要です)。
82477	too long subject	subject の長さが上限を超えています。(900 文字)
82478	too long text_part	text_part の 1 行の長さが上限を超えています。(半角:990 文字、全角:約 330 文字)

99500	internal error	処理に失敗しました。
-------	----------------	------------

[補足]

1. GSV 項目の本文への差し込みに関して

- ・GSV ファイルの項目を利用してメール件名・本文中にデータの差し込みが可能です。
- ・GSV の標準仕様に準拠した形であれば、特に利用できない文字はございません。
- ・「HTML タグ」を差し込みコードとして利用する場合には、アカウント毎の設定変更が必要となります。ご要望の場合は別途お問い合わせください。

件名・本文に差し込みたい項目を **##_項目名_##** の形式で記述して下さい。

※'#' と '_' (アンダースコア)、それぞれ 2 つずつで項目名を挟みます。

例) 下記のような GSV ファイルを利用してメール作成する場合

メールアドレス	お名前	都道府県
aaa0000001@xxxxx.co.jp	山田	東京都

【作成した件名と本文】

---件名-----

##_都道府県_##在住のみなさんへお得な情報です！

---本文-----

##_お名前_##さんへ

×××店からのお知らせ

○月○日からセール開催です！

【実際に送信される件名と本文】

---件名-----

東京都在住のみなさんへお得な情報です！

---本文-----

山田さんへ

×××店からのお知らせ

○月○日からセール開催です！

2. クリック URL の設定に関して

- ・本文中の URL に対してクリック URL 設定を行う事が可能です。
- クルメルの管理画面の[各種設定] → [クリック URL の初期値] より
条件をあらかじめご登録いただくことで本文中の URL に対して、クリック URL 設定が自動で行われます。

※画面でのくわしい設定方法に関しては、マニュアルをご覧ください。

操作マニュアル http://support.curumeru.jp/manual/curumeru_manual.pdf

3. メール配信 API の利用に関して

メール配信を行う API には下記の 2 種類がございます。

- [1] メール配信予約 API(一斉メール配信)
- [2] メール配信予約 API(個別メール配信)

それぞれ以下のメリット・デメリットがございますので、お客様の想定される運用に合わせて、どちらをご利用いただくかをご選択ください。

[1] メール配信予約 API(一斉メール配信)

<概要>

- ・一度に複数の宛先に対して配信を行うための API

<メリット>

- ・複数の宛先に対しての一斉配信を行う場合、[2]を複数回実行するよりもパフォーマンスが高い
- ・管理画面上から、配信した内容を確認することが可能

<デメリット>

- ・「配信リスト」のアップロード処理が発生するため、[2]と比較してパフォーマンスが劣る
- ・1 回の API 発行で作成される DB 上の関連データ量が多くなる
 - 大量の API 発行によるデータ量増加が要因となり、パフォーマンス劣化が発生する可能性がある

[2] メール配信予約 API(個別メール配信)

<概要>

- ・1 件別の宛先に対して配信を行うための API

<メリット>

- ・「配信リスト」のアップロード処理が発生しないため、[1]と比較してパフォーマンスが高い
- ・作成されるデータ量が少ないため、データ量増加が要因となるパフォーマンス劣化が発生しにくい

<デメリット>

- ・管理画面上から、配信した内容を確認することができない

メール配信予約 API(個別メール配信)

【概要】

指定した1アドレスに対してメール配信予約を行うAPIです。

※TO アドレスに指定したメールアドレスにメールを送信します。

※HTML メールを送信する場合は html_part、テキストメールを送信する場合は text_part に本文を入力してください。

※配信日時に指定できる範囲は現在から翌年末までです。

※添付ファイルを指定する場合は、添付ファイル送信オプションの契約が必要です。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/index.php?ac=CreateNewMailLite

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1: UTF-8 2: Shift-JIS 3: EUC-JP
mail_lang	配信言語	整数		※このパラメータは多言語配信オプションの契約が必要です。 ※日本語以外は、パラメータ「charset」に 1: UTF-8 のみ指定できます。 未指定時は「0: 日本語」として配信。 0: 日本語 1: 中国語(繁体字) 2: 中国語(簡体字) 3: 韓国語(ハングル) 4: その他の言語(UTF-8)
return_format	取得形式	整数		取得する形式を指定。 "csv": CSV 形式 "xml": XML 形式 ※省略すると、csv 形式。
to_address	宛先(to)	文字列	★	メールの To に仕様するメールアドレス
from_address	From のメールアドレス	文字列	★	メールの From に使用するメールアドレス ※DKIM 署名の利用には登録済の From アドレス/差出人名の指定が必要です。
from_name	From の差出人名	文字列		メールの From の差出人名 ※DKIM 署名の利用には登録済の From アドレス/差出人名の指定が必要です。

replacement_data	顧客情報	文字列		顧客情報として使用する CSV フォーマットデータ 例) 名前,都道府県,年齢 山田,東京都,28 ※項目名を差し込みコードとして使用可能
mail_group_code	グループコード	文字列		メール識別用文字列 ※20 文字以内の半角英数を指定可能。
subject	件名	文字列	★	メールの件名
text_part	本文(テキストパート)	文字列	△	メールのテキストパート テキストメールの場合は必須
html_part	本文(HTML パート)	文字列	△	メールの HTML パート HTML メールの場合は必須
schedule_type	予約種別	整数	★	メールの予約種別 1: 即時配信 2: 予約配信
schedule_date	配信日時	日時	△	メールの配信を行う日時 (yyyy/mm/dd hh24:mi) ※過去日時は指定できない。 ※予約配信の場合のみ必須。 ※5 分間隔でのみ設定可能
report_option	レポートオプション	整数		一括処理終了後にレポートメールを送信するかどうか。 0: 送信しない 1: 送信する 2: エラー時のみ送信する ※パラメータまたは値がない場合は "1"。
attach_file_01	添付ファイル1	ファイル		※このパラメータは添付ファイル送信オプションの契約が必要です。 メールに添付するファイル。
attach_file_02	添付ファイル2	ファイル		"
attach_file_03	添付ファイル3	ファイル		"
attach_file_04	添付ファイル4	ファイル		"
attach_file_05	添付ファイル5	ファイル		"
attach_file_06	添付ファイル6	ファイル		"
attach_file_07	添付ファイル7	ファイル		"
attach_file_08	添付ファイル8	ファイル		"
attach_file_09	添付ファイル9	ファイル		"
attach_file_10	添付ファイル10	ファイル		"

【取得内容】

CSV 項目名	xml タグ名	表示例
メール ID	lite_mail_id	105

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81405	bad mail max size	メールサイズが上限を超えています。
81406	bad mail body max size	メール本文のサイズが 2MB を超過しています。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。
82476	bad charset	多言語配信の場合は charset に 1:UTF-8 を指定してください。
82474	multilingual option not available	多言語配信オプションは利用できません(オプション契約が必要です)。
82475	bad mail_lang	mail_lang には、0~4 の整数を指定してください。
81424	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81438	bad report_option	report_option には、0~2 の整数を指定してください。
81441	too big file	送信できるファイルサイズは 30MB 未満です。
81442	no file	ファイルが存在しません。
82460	bad from_address	from_address がメールアドレスの形式ではありません。
82461	no from_address	from_address を指定してください。
82462	no subject	subject を指定してください。
82463	no body	text_part または html_part を指定してください。
82464	bad schedule_type	schedule_type には、1~2 の整数を指定してください。
82465	bad schedule_date	schedule_date が正しく指定されていません。
82466	too old schedule_date	schedule_date に過去の日付は使用できません。
82472	too big attachment	添付ファイルのサイズが合計 3MB を超えています。
82473	attachment option not available	添付ファイルのオプションは利用できません(オプション契約が必要です)。
82477	too long subject	subject の長さが上限を超えています。(900 文字)
82478	too long text_part	text_part の 1 行の長さが上限を超えています。(半角:990 文字、全角:約 330 文字)
82479	no to_address	to_address を指定してください。
82480	bad to_address	to_address がメールアドレスの形式ではありません。
82481	bad replacement_data row number	replacement_data は 2 行(1 行目に項目名、2 行目にデータ)で記述してください。
82482	bad replacement_data columns	replacement_data の項目列とデータ列の数が合っていません。
82483	too many columns in replacement_data	replacement_data の 1 行目は 100 項目以内で指定してください。
82484	blank column in replacement_data	replacement_data の 1 行目の項目名に空の値が含まれています。
82485	bad replacement_data	replacement_data の 1 行目に使用できない文字(改行文字 ¥r ¥n)が含まれています。
82486	bad mail_group_code	mail_group_code には、20 字以内 の半角英数が指定可能です。

99500	internal error	処理に失敗しました。
-------	----------------	------------

[補足]

1. 顧客情報項目の本文への差し込みに関して

- 顧客情報項目を利用してメール件名・本文中にデータの差し込みが可能です。

件名・本文に差し込みたい項目を **##_項目名_##** の形式で記述して下さい。

※'#' と '_' (アンダースコア)、それぞれ2つずつで項目名を挟みます。

例) 下記のような顧客情報を利用してメール作成する場合

お名前	都道府県	年齢
山田	東京都	29

【作成した件名と本文】

---件名-----

##_都道府県_##在住のみなさんへお得な情報です！

---本文-----

##_お名前_##さんへ

×××店からのお知らせ

○月○日からセール開催です！

【実際に送信される件名と本文】

---件名-----

東京都在住のみなさんへお得な情報です！

---本文-----

山田さんへ

×××店からのお知らせ

○月○日からセール開催です！

2. クリック URL の設定に関して

- 本文中の URL に対してクリック URL 設定を行う事が可能です。

クルメルの管理画面の[各種設定] -> [クリック URL の初期値] より

条件をあらかじめご登録いただくことで本文中の URL に対して、クリック URL 設定が自動で行われます。

※画面での詳しい設定方法に関しては、マニュアルをご覧ください。

操作マニュアル http://support.curumeru.jp/manual/curumeru_manual.pdf

3. メール配信 API の利用に関して

メール配信を行う API には下記の 2 種類がございます。

- [1] メール配信予約 API(一斉メール配信)
- [2] メール配信予約 API(個別メール配信)

それぞれ以下のメリット・デメリットがございますので、お客様の想定される運用に合わせて、どちらをご利用いただくかをご選択ください。

[1] メール配信予約 API(一斉メール配信)

<概要>

- ・一度に複数の宛先に対して配信を行うための API

<メリット>

- ・複数の宛先に対しての一斉配信を行う場合、[2]を複数回実行するよりもパフォーマンスが高い
- ・管理画面上から、配信した内容を確認することが可能

<デメリット>

- ・「配信リスト」のアップロード処理が発生するため、[2]と比較してパフォーマンスが劣る
- ・1 回の API 発行で作成される DB 上の関連データ量が多くなる
 - 大量の API 発行によるデータ量増加が要因となり、パフォーマンス劣化が発生する可能性がある

[2] メール配信予約 API(個別メール配信)

<概要>

- ・1 件別の宛先に対して配信を行うための API

<メリット>

- ・「配信リスト」のアップロード処理が発生しないため、[1]と比較してパフォーマンスが高い
- ・作成されるデータ量が少ないため、データ量増加が要因となるパフォーマンス劣化が発生しにくい

<デメリット>

- ・管理画面上から、配信した内容を確認することができない

メール配信日時変更 API

【概要】

配信待ちになっているメールの配信日時を変更する API です。

※配信日時に指定できる範囲は現在から翌年末までです。

※配信日時が変更できるメールは、一斉メール配信で送信したメールのみとなります。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/index.php?ac=EditMailSendSchedule

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例) お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1 : UTF-8 2 : Shift-JIS 3 : EUC-JP
return_format	取得形式	整数		取得する形式を指定。 "csv" : CSV 形式 "xml" : XML 形式 ※省略すると、csv 形式。
mail_id	メール ID	整数	★	対象メールのメール ID ※変更できるメール状態 ・配信待ち
schedule_type	予約種別	整数	★	メールの予約種別 1 : 即時配信 2 : 予約配信
schedule_date	配信日時	日時		メールの配信を行う日時 (yyyy/mm/dd hh24:mi) ※過去日時は指定できない。

【取得内容】

なし

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。

81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。
81462	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81466	no mail_id	mail_id を指定してください。
81467	bad mail_id	mail_id が整数ではない、または存在しない mail_id です。
82464	bad schedule_type	schedule_type には、1~2 の整数を指定してください。
82465	bad schedule_date	schedule_date が正しく指定されていません。
82466	too old schedule_date	schedule_date に過去の日付は使用できません。
82471	schedule_date out of range	schedule_date に指定できる日付は翌年末までです。
82470	unable to edit schedule	対象のメールは、配信日時を変更することができません。
99500	internal error	処理に失敗しました。

メール配信キャンセル API

【概要】

配信待ち・配信中のメールをキャンセルする API です。

※キャンセルできるメールは、一斉メール配信で送信したメールのみとなります。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■/api/index.php?ac=CancelMailSchedule

●●●●●●/■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1 : UTF-8 2 : Shift-JIS 3 : EUC-JP
return_format	取得形式	整数		取得する形式を指定。 "csv" : CSV 形式 "xml" : XML 形式 ※省略すると、csv 形式。
mail_id	メール ID	整数	★	対象メールのメール ID ※キャンセルできるメール状態 ・配信待ち ・配信中

【取得内容】

なし

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。

81462	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81466	no mail_id	mail_id を指定してください。
81467	bad mail_id	mail_id が整数ではない、または存在しない mail_id です。
82467	unable to cancel	対象のメールは、キャンセルすることができません。
99500	internal error	処理に失敗しました。

テストメール送信 API

【概要】

テストメールを送信する API です。

テストメール送信先に指定されたアドレス宛にテストメールが送信されます。

※テストメール送信先はカンマ(,)区切りで複数していただけます。

※メール内の置換文字列は置き換えられず、そのまま送信されます。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■/api/index.php?ac=SendTestMail

●●●●●●/■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1 : UTF-8 2 : Shift-JIS 3 : EUC-JP
return_format	取得形式	整数		取得する形式を指定。 "csv" : CSV 形式 "xml" : XML 形式 ※省略すると、csv 形式。
test_address	テストメール送信先	文字列	★	テストメールの送信先アドレス ※カンマ区切りで複数指定可能
subject	件名	文字列	★	メールの件名
text_part	本文(テキストパート)	文字列	△	メールのテキストパート テキストメールの場合は必須
html_part	本文(HTML パート)	文字列	△	メールの HTML パート HTML メールの場合は必須

【取得内容】

なし

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。

81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81405	bad mail max size	メールサイズが上限を超えています。
81406	bad mail body max size	メール本文のサイズが 2MB を超過しています。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。
81462	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
82446	bad list_name	list_name に使用できない文字が含まれています。
82447	too long list_name	list_name が長すぎます。
82448	too many column	CSV ファイルの 1 行目は 100 項目以内で指定してください。
82449	blank column	CSV ファイルの 1 行目の項目名に空の値が含まれています。
82450	bad column	CSV ファイルの 1 行目に使用できない文字が含まれています。
82468	bad test_address	test_address がメールアドレスの形式ではありません。
82469	no test_address	test_address を指定してください。
82462	no subject	subject を指定してください。
82463	no body	text_part または html_part を指定してください。
99500	internal error	処理に失敗しました。

取得系 API

エラーアドレス一覧取得 API

【概要】

エラーアドレス一覧を取得する API です。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■/api/index.php?ac=GetErrorAddressList

●●●●●●/■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1 : UTF-8 2 : Shift-JIS 3 : EUC-JP
return_format	取得形式	文字列		取得する形式を指定。 "csv" : CSV 形式 "xml" : XML 形式 ※省略すると、CSV 形式。

【取得内容】

CSV 項目名	xml タグ名	表示例
メールアドレス	mail_address	tanto@example.com
最終更新日	last_update_date	2012/02/28 12:59
永続的	permanent_error	10
一時的	temporary_error	10
原因不明	unknown_error	10
合計	summary	10

※並び順:最終更新日の降順

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81424	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。
99500	internal error	処理に失敗しました。

メール一覧取得 API(一斉メール配信)

【概要】

メールの一覧を取得する API です。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/index.php?ac=GetMailList

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1: UTF-8 2: Shift-JIS 3: EUC-JP
return_format	取得形式	文字列		取得する形式を指定。 "csv": CSV 形式 "xml": XML 形式 ※省略すると、CSV 形式。
mail_status	メール状態	整数		取得するメール状態を指定。 ※複数指定可能(カンマ区切りで指定) 1: 配信待ち 2: 配信中 3: 配信完了 4: 一時停止 5: キャンセル 6: 承認待ち 7: 差し戻し ※省略すると、すべてを対象。
mail_type	メール形式	整数		取得するメール形式を指定。 ※複数指定可能(カンマ区切りで指定) 1: テキスト 2: HTML 3: 絵文字 4: デコメール ※省略すると、すべてを対象。
from_date	期間指定 (FROM)	日付		指定された日付より大きい開始日を対象。 (形式: YYYY/MM/DD) ※入力例: 2012/01/05
to_date	期間指定 (TO)	日付		指定された日付より小さい開始日を対象。 (形式: YYYY/MM/DD) ※入力例: 2012/01/05

【取得内容】

CSV 項目名	xml タグ名	表示例
メール ID	mail_id	1 ※一斉メールと個別メールは ID が別々に管理されている為、同じ ID となる場合があります
状態	mail_status	配信完了
送信日時	send_date	2012/02/28 12:59
件名	subject	〇×メルマガ No.1
配信数	number	1000
配信リスト	list_name	メルマガリスト(梅田店) ※店舗なしの場合、配信リスト名のみ
メール形式	mail_type	テキスト

※並び順: 配信日時の降順

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81424	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。
81462	bad mail_type	mail_type には、1~4 の整数を指定してください。
81463	bad mail_status	mail_status には、1~7 の整数を指定してください。
81464	bad date	from_date もしくは to_date が正しく指定されていません。
99500	internal error	処理に失敗しました。

メール一覧取得 API(個別メール配信)

【概要】

メールの一覧を取得する API です。※個別メール配信の API で配信したメールを取得します。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/index.php?ac=GetMailListLite

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1 : UTF-8 2 : Shift-JIS 3 : EUC-JP
return_format	取得形式	文字列		取得する形式を指定。 "csv" : CSV 形式 "xml" : XML 形式 ※省略すると、CSV 形式。
from_date	期間指定 (FROM)	日付		指定された日付より大きい開始日を対象。 (形式: YYYY/MM/DD) ※入力例: 2012/01/05
to_date	期間指定 (TO)	日付		指定された日付より小さい開始日を対象。 (形式: YYYY/MM/DD) ※入力例: 2012/01/05
mail_group_code	グループコード	文字列		メール識別用文字列 ※20 文字以内の半角英数を指定可能。
delivery_results	配信結果	整数		配信先アドレスの配信結果を指定。 0 : 指定なし 1 : 配信成功のみ 2 : 配信エラーのみ ※省略すると、0 : 指定なし。
open_html_mail	HTML 開封	整数		開封状況を指定。 0 : 指定なし 1 : 開封されたメールのみ 2 : 未開封のメールのみ ※省略すると、0 : 指定なし。

【取得内容】

CSV 項目名	xml タグ名	表示例
メール ID	lite_mail_id	1 ※一斉メールと個別メールは ID が別々に管理されている為、同じ ID となる場合があります
状態	mail_status	配信完了
送信日時	send_date	2012/02/28 12:59
件名	subject	〇×メルマガ No.1
メール形式	mail_type	テキスト
To アドレス	to_address	user01@example.com
配信状況	delivery_results	配信済み
エラー種別	error_type	一時的なエラー
エラー詳細	error_info	送信先メールボックスの容量不足
HTML 開封	open_html_mail	開封済 ※テキストメールの場合は、値なし
クリックカウント	click_count	2/3 ※クリックされた URL 数/クリックカウントとして設定された URL 数
グループコード	mail_group_code	GR

※並び順: 配信日時の降順

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81424	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。
81464	bad date	from_date もしくは to_date が正しく指定されていません。
81472	bad delivery_results	delivery_results には、0~2 の整数を指定してください。
81473	bad open_html_mail	open_html_mail には、0~2 の整数を指定してください。

82486	bad mail_group_code	mail_group_code には、20 字以内 の半角英数が指定可能です。
99500	internal error	処理に失敗しました。

メール情報詳細取得 API

【概要】

メールの詳細情報を取得する API です。

※取得できる情報は、一斉メール配信の情報のみとなります。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■/api/index.php?ac=GetMailInfo

●●●●●●/■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1 : UTF-8 2 : Shift-JIS 3 : EUC-JP
return_format	取得形式	文字列		取得する形式を指定。 "csv" : CSV 形式 "xml" : XML 形式 ※省略すると、CSV 形式。
mail_id	メール ID	整数	★	取得するメール ID を指定。 ※取得できるメール状態 ・配信待ち ・配信中 ・配信完了 ・一時停止 ・キャンセル ・承認待ち ・差し戻し

【取得内容】

CSV 項目名	xml タグ名	表示例
メッセージ ID	mail_id	1
状態	mail_status	配信完了
配信開始日時	start_date	2012/02/28 12:59
配信終了日時	end_date	2012/02/28 13:05
配信リスト	list_name	1:メルマガリスト(梅田店) ※店舗なしの場合、配信リスト名のみ

配信数	number	1000
配信成功数	success	950
エラー数	error	50
メール形式	mail_type	テキスト
From	from	○×梅田店 <umeda@example.com>
件名	subject	○×メルマガ No.1
本文(テキスト) 本文(絵文字)	text_part	
本文(HTML) 本文(デコメール)	html_part	※デコメールの場合、以下の文言を出力します。 デコメールの本文は、取得できません。

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81424	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。
81465	denied to get mail	指定した mail_id のメールは、取得できません。
81466	no mail_id	mail_id を指定してください。
81467	bad mail_id	mail_id が整数ではない、または存在しない mail_id です。
99500	internal error	処理に失敗しました。

配信結果アドレス一覧取得 API

【概要】

メール配信を行った結果のアドレス一覧を取得する API です。

※取得できる情報は、一斉メール配信の情報のみとなります。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■/api/index.php?ac=GetSenderLog

●●●●●●/■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1 : UTF-8 2 : Shift-JIS 3 : EUC-JP
return_format	取得形式	文字列		取得する形式を指定。 "csv" : CSV 形式 "xml" : XML 形式 ※省略すると、CSV 形式。
mail_id	メール ID	整数	★	取得するメール ID を指定。 ※取得できるメール状態 ・配信完了 ・一時停止 ・キャンセル

【取得内容】

CSV 項目名	xml タグ名	表示例
メールアドレス	mail_address	tanto@example.com
エラー種別	error_type	一時的なエラー
エラー詳細	error_info	送信先メールボックスの容量不足

※並び順:メールアドレスの昇順

※配信に成功したメールアドレスの「エラー種別」、「エラー詳細」の項目は空欄(ブランク)となります

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81424	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81461	bad charset	charset には、1～3 の整数を指定してください。
81465	denied to get mail	指定した mail_id のメールは、取得できません。
81466	no mail_id	mail_id を指定してください。
81467	bad mail_id	mail_id が整数ではない、または存在しない mail_id です。
99500	internal error	処理に失敗しました。

配信エラー情報取得 API

【概要】

メール配信で配信エラーとなったアドレス一覧を取得する API です。

※取得できる情報は、一斉メール配信の情報のみとなります。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■/api/index.php?ac=GetFailureAddressList

●●●●●●/■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1 : UTF-8 2 : Shift-JIS 3 : EUC-JP
return_format	取得形式	文字列		取得する形式を指定。 "csv" : CSV 形式 "xml" : XML 形式 ※省略すると、CSV 形式。
mail_id	メール ID	整数	★	取得するメール ID を指定。 ※取得できるメール状態 ・配信完了 ・一時停止 ・キャンセル

【取得内容】

CSV 項目名	xml タグ名	表示例
メールアドレス	mail_address	tanto@example.com
エラー種別	error_type	一時的なエラー
エラー詳細	error_info	送信先メールボックスの容量不足

※並び順:メールアドレスの昇順

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81424	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。
81465	denied to get mail	指定した mail_id のメールは、取得できません。
81466	no mail_id	mail_id を指定してください。
81467	bad mail_id	mail_id が整数ではない、または存在しない mail_id です。
99500	internal error	処理に失敗しました。

開封アドレス一覧取得 API

【概要】

HTML メールの開封結果のアドレス一覧を取得する API です。
 開封したアドレス、開封していないアドレスをそれぞれ取得することができます。
 ※取得できる情報は、一斉メール配信の情報のみとなります。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/index.php?ac=GetHTMLReadAddressList

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例) お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1 : UTF-8 2 : Shift-JIS 3 : EUC-JP
return_format	取得形式	文字列		取得する形式を指定。 "csv" : CSV 形式 "xml" : XML 形式 ※省略すると、CSV 形式。
mail_id	メール ID	整数	★	取得するメール ID を指定。 ※取得できるメール状態 ・配信完了
read_flag	開封フラグ	文字列		開封したアドレスか未開封のアドレスを取得するかを指定。 "read" : 開封したアドレス "unread" : 未開封のアドレス ※省略すると、開封したアドレスを取得。

【取得内容】

CSV 項目名	xml タグ名	表示例
メールアドレス	mail_address	tanto@example.com

※並び順: メールアドレスの昇順

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81424	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81461	bad charset	charset には、1～3 の整数を指定してください。
81465	denied to get mail	指定した mail_id のメールは、取得できません。
81466	no mail_id	mail_id を指定してください。
81467	bad mail_id	mail_id が整数ではない、または存在しない mail_id です。
81468	bad read_flag	read_flag には、「read」もしくは「unread」を指定してください。
81469	not html mail	取得できるメールは、HTML メールのみです。
99500	internal error	処理に失敗しました。

URL クリックアドレス一覧取得 API

【概要】

メールの URL クリック結果のアドレス一覧を取得する API です。
 URL をクリックした、クリックしていないアドレスを取得することができます。
 ※取得できる情報は、一斉メール配信の情報のみとなります。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■/api/index.php?ac=GetClickMailAddressList

●●●●●●/■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例) お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1 : UTF-8 2 : Shift-JIS 3 : EUC-JP
return_format	取得形式	文字列		取得する形式を指定。 "csv" : CSV 形式 "xml" : XML 形式 ※省略すると、CSV 形式。
mail_id	メール ID	整数	★	取得するメール ID を指定。 ※取得できるメール状態 ・配信完了
click_flag	クリックフラグ	文字列		クリックしたアドレスか未クリックのアドレスかを取得するかを指定。 "clicked" : クリックしたアドレス "unclicked" : 未クリックのアドレス ※省略すると、クリックしたアドレス取得。

【取得内容】

CSV 項目名	xml タグ名	表示例
URL	url	http://www/example.com
メールアドレス	mail_address	tanto@example.com

※並び順: メールアドレスの昇順

※同じ URL が存在する場合、メールアドレスを集約して集計する。

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。
81423	no password	transport_password が入力されていません。
81424	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81461	bad charset	charset には、1～3 の整数を指定してください。
81465	denied to get mail	指定した mail_id のメールは、取得できません。
81466	no mail_id	mail_id を指定してください。
81467	bad mail_id	mail_id が整数ではない、または存在しない mail_id です。
81470	bad click_flag	click_flag には、「clicked」もしくは「unclicked」を指定してください。
81471	not click url	指定したメールには、クリック URL が含まれていません。
99500	internal error	処理に失敗しました。

月別メール配信数取得 API

【概要】

過去 12 カ月間の月別メール配信数一覧を取得する API です。

※取得出来る情報は一斉メール配信での配信と個別メール配信での配信、両方が含まれます。

【接続先 URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■/api/index.php?ac=GetSendMailMonthlyReport

●●●●●●/■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログイン URL に置き換えてください。

例)お客様のログイン URL が https://m.crmf.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、m.crmf.jp

■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
transport_password	接続用パスワード	文字列	★	API 連携接続用パスワード
charset	文字コード	整数	★	CSV ファイルの文字コード・通信文字コード。 1 : UTF-8 2 : Shift-JIS 3 : EUC-JP
return_format	取得形式	文字列		取得する形式を指定。 "csv" : CSV 形式 "xml" : XML 形式 ※省略すると、CSV 形式。

【取得内容】

CSV 項目名	xml タグ名	表示例
月	month	2013 年 12 月
配信数	number	15000

※並び順: 月の昇順

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

CODE	STATUS	メッセージ
81401	unauthorized	接続情報が正しくありません。
81402	access denied	許可されていない IP アドレスからのアクセスです。
81404	too many calls	API の実行回数が制限を超えました。

81423	no password	transport_password が入力されていません。
81424	bad return_format	return_format には、「csv」もしくは「xml」を指定してください。
81461	bad charset	charset には、1~3 の整数を指定してください。
99500	internal error	処理に失敗しました。

注意事項

- API 連携の「接続用パスワード」「接続元 IP アドレスの制限」は、基本設定画面より設定することが可能です。
接続元 IP アドレスを指定されている場合は、その IP アドレス以外からはアクセスすることができません。
設定方法の詳細は、マニュアルをご覧ください。

◆ クルメルマニュアル

店舗利用ありの場合(本部ユーザ向け)

http://support.curumeru.jp/manual/curumeru_honbu_manual.pdf

店舗利用なしの場合

http://support.curumeru.jp/manual/curumeru_manual.pdf

- 容量の大きな CSV ファイルを連続して送信すると、サーバへ大きな負荷がかかるため、メール配信速度の低下や、クルメルの操作が遅くなるなどの影響があります。

ご利用中の他のお客様にも影響がありますので、過度の連続実行は控えていただきますようお願いいたします。